

ジョージア (Georgia)

通 信

I 監督機関等

通信委員会 (ComCom)

Communications Commission

Tel.	+995 32 2921667
URL	https://comcom.ge/ge/
所在地	Ketevan Tsamebuli Av.Bochorma Str. 50/18 0144 Tbilisi Georgia
幹 部	Kakhi Bekauri (委員長/Chairman)

所掌事務

2000年7月に設立され、電子通信及び放送分野の規制を所掌する独立した国家規制機関である。通信委員会は、6年の任期をもつ5人の委員で構成される。また、委員会の収入源は、電子通信及び放送部門の認可及び認可を受けた者からのライセンス料及び規制料金によるものであり、これは通信事業者の年間売上高の0.75%、放送事業者の0.5%に相当する。

・ ライセンス条件の決定とライセンスの認定及び付与、変更、更新、一時停止、取消

- ・ 料金の決定及び規制
- ・ ネットワークオペレータ間の相互接続の監視
- ・ 無線周波数スペクトルの割り当てとその管理
- ・ 透明性のある規制環境の確立
- ・ 公正かつ平等な競争環境の促進
- ・ 消費者の権利保護
- ・ ライセンス所有者間、及びライセンス所有者と消費者の間での紛争解決

[<https://comcom.ge/en/the-commission/about-commission> 等]

II 法令

ジョージア電気通信法 (LAW OF GEORGIA ON ELECTRONIC COMMUNICATIONS)

ジョージアにおける電気通信等にかかる業務は、郵便通信法(1999年)とその改正に代わり、2005年6月6日に可決されたジョージア電気通信法によって管理されている。この法律は、自国の電気通信法を国際公約及びEUの規制枠組みと調和させるために導入された。

2005年の法律によって導入された主な変更には、以下が含まれる。

- ・希少な電波資源を割り当てるため、オークションを通じてのみライセンスが付与される認可システムへの移行
- ・重要な市場支配力(Significant Market Power)の概念と、市場を定義し、競争のレベルを評価するための市場分析手順の導入
- ・無線周波数の二次取引 等

[ジョージア電気通信法等]

III 政策動向

1 免許制度

ジョージア電気通信法に基づき、無線周波数スペクトルの使用ライセンスはComComによるオークションを通じて付与される。無線周波数スペクトルのライセンスは付与されてから、10年または15年のスパンで更新される。

2 競争促進政策

(1) 相互接続

国内における相互接続に関する契約は、通信事業者等の関係者間での交渉に基づき行われる。ジョージア電気通信法の第2条において、相互接続は「ネットワークオペレータによって提供される、無制限、義務的、無差別の相互アクセスによって維持される」と定義されている。また、第41条と第42条においては紛争の処理手順等が規定されており、その中で相互接続における紛争について、当事者間で和解が成立しない場合には、相互接続にかかる条件はComComによって特定すると定められている。

相互接続の料金計算モデルについては、将来の長期増分コストをその時点で最も低廉かつ効率的な設備と技術の利用に基づき算定されるBU-LRICモデルが採用されている。

[ジョージア電気通信法等]

(2) 番号政策

ジョージアでは、2010年に「番号ポータビリティに関する規制」が承認されている。この法律では、固定及びモバイルのサービスプロバイダーは、使用され

ている技術に関係なく、あるネットワーク事業者から別のネットワーク事業者に切り替える場合、加入者番号を維持する権利等を利用者が確保できるものと規定している。2017年には、番号の移行にかかる最大期間が3日から24時間に短縮されている。さらに、2021年6月には、利用者はオンラインで番号移行の手続きを実施できるようになった。

(3) MVNO

2020年2月に、ComComは、モバイルネットワークへの卸売アクセスを規制し、MVNOを可能にする決議を発表した。市場分析調査において、大きな市場支配力(SMP)を持つ事業者として SilkNet、MagtiCom、Cellfie Mobile(当時は VEON Georgia)は、MVNOへのアクセスを許可し、公開することが求められた。2022年8月に、Eclecticが SilkNetのネットワークを利用しジョージアで初めてMVNOの商用サービスを開始した。

3 情報通信基盤整備政策

(1) ユニバーサル・サービス

ユニバーサル・サービス基金は、住宅用固定音声サービス、公衆電話、緊急サービス等を対象としている。2005年9月に、EUユニバーサル・サービス指令(2002/22/EC)を考慮して、基金を管理するために、政府及び通信委員会の職員で構成されるユニバーサル・サービス委員会が設立された。

(2) 高速ブロードバンド計画

ジョージアのブロードバンドインフラ開発プログラムの一環として、2020年に「ブロードバンドネットワーク開発戦略2020～2025年」を発表した。この戦略では、2025年までに、学校、高速道路、公共施設等において、最大1Gbpsのダウンロード速度でのインターネットアクセスを提供することを義務付けている。また、この戦略はインフラを構築するだけでなく、知識とスキルを向上させ雇用の増加につなげるとともに、ジョージアを周辺地域のデジタル及び情報のハブとして確立することを目的としている。

(3) 5Gネットワーク及びサービスの開発促進戦略

ComComは、2019年12月に、5Gの周波数の解放、調整及び調和計画を含む「5Gネットワーク及びサービスの開発促進戦略 (Strategy for Promoting the Development of 5G Network and Services.)」を発表した。この戦略では、5G周波数のライセンスに関連して、必要となる法改正や5Gのユースケース等が示されている。また、ComComは、2020年4月に「5G周波数リソース料金コンサルティング文書 (5G Frequency Resource Fee Consulting Document)」を公開している。

IV 関連技術の動向

電気通信機器及び無線機器に関する基準認証は ComCom が行う。端末機器の認定については、「ジョージア電気通信法」第 X 章第 59 条により、ComCom が定める規則に従って認証される必要があり、ジョージア国立標準化・測定・認証機関（the National Agency for Standardisation, Metrology and Certification of Georgia）により検査を受け、ComCom の勧告により認定される。

[<https://matsne.gov.ge/en/document/download/29620/26/en/pdf> 等]

V 事業の現状

1 固定電話

固定電話市場は、1996 年に自由化され、当時最大の固定電話事業者であった SilkNet（当時は United Telecom of Georgia）の他、多数の通信事業者が参入しすぐに競争的な市場環境が作られた。2022 年 12 月末時点で、合計 25 社が固定電話市場で活動している。

2 移動体通信

携帯電話市場は、MagtiCom、SilkNet、Cellfie Mobile の 3 社によって、市場シェアの 9 割以上が占められている状況である。市場シェアについては、2023 年 9 月末の時点で、MagtiCom が 39.3%、SilkNet が 32.6%、Cellfie Mobile が 22.5% を占めている。MVNO については、Eclectic が 2022 年 8 月に、Hallo というブランド名で、ジョージアで初めて商用サービスを開始した。同社は、2021 年末に SilkNet（MNO）と契約を締結している。契約者数は、2023 年 9 月末時点で、約 3 万 5,000 件ほどである。

3 インターネット

ジョージアの固定ブロードバンド市場は、DSL、FTTH、FWA といった多様な通信サービスが十分に提供されている状況にある。MagtiCom と SilkNet が主要な事業者であり、市場シェアについては、2023 年 9 月末の時点で、MagtiCom が 47.5%、SilkNet が 31.0%となっている。

VI 運営体

SilkNet

Tel.	+995 32 2100000
URL	https://www.silknet.com/
幹部	David Mamulaishvili（最高責任者／General Director）

概要

2009 年に設立され、Silk Road Group Holding のうちの一社であり、直接的な

親会社は、**SilkNet Holding** となる。ジョージア国内の大手通信事業者であり、固定電話、移動体通信、固定ブロードバンド等を提供している。2023年1月末時点での契約者数は以下のとおりである。

- ・固定電話：約 32 万人
- ・移動体通信：約 179 万人
- ・固定ブロードバンド：約 17 万人

[<https://www.silknet.com/>等]

放 送

I 監督機関等

1 通信委員会 (ComCom)

(通信 / I の項参照)

所掌事務

放送部門では、放送事業の認可の他、放送周波数管理及び衛星・ケーブルテレビ事業者の監督を所掌する。

II 法令

1 2005年ジョージア放送法 (LAW OF GEORGIA ON BROADCASTING)

放送分野における規制及び放送権の取得にかかる規則、手続き等を定めている。

III 政策動向

1 免許制度

「ジョージア放送法」に基づき、ComComにより放送の認可が行われる。周波数スペクトル及び衛星を使用した放送については、ライセンスが発行される。

2 地上デジタル放送

2015年7月1日より、首都トビリシからアナログ地上波の停波が行われており、ジョージア全土のデジタル放送への切り替えは、同年の8月1日までの完了が計画され、10月に切り替えが完了したことが発表された。方式としては、DVB-T方式が採用されている。

IV 事業の現状

1 ラジオ

Radio Holding-Fortunaが、ジョージアの最も大きなラジオ放送事業者である。主要なチャンネルとして、Fortuna、Fortuna Plus、Ar Daidardo等がある。

2 テレビ

公共放送機関であるGeorgian Public Broadcaster (First Channel等)の他、Teleimedi (IMEDI TV)がジョージアにおいて主要事業者にあたる。

3 衛星放送

Maestro (MaestroTV)が、衛星チャンネルを提供している。

4 ケーブルテレビ

ケーブルテレビ事業者の組合として、ジョージアケーブルテレビ組合（Cable Televisions Union of Georgia）が設立されている。電気通信分野における国際協力の促進の他、有料の TV プラットフォームに対する海外テレビチャンネルの配信等を行う。

[各社ウェブサイト等]

V 運営体

ジョージア公共放送（GPB）

Georgian Public Broadcaster

Tel.	+995 2 409 477
URL	https://1tv.ge/
所在地	68 Merab Kostava Street, 0171, Tbilisi, Georgia
幹部	Tinatin Berdzenishvili（事務局長／Director General）

概要

2005年1月に施行された「ジョージア放送法」に基づき、国営放送機関から公共放送機関に移行した。GPBは主に「First Channel」（1956年以降）と「First Caucasian」（2010年から2012年まで）、「Second Channel」（1956年以降）の3つのTVチャンネルを運営している。

[<https://1tv.ge/> 等]

電 波

I 監督機関等

1 監督機関

通信委員会 (ComCom)

(通信 / I の項参照)

II 電波監理政策の動向

1 電波監理政策の概要

ComCom が周波数の管理業務を所感しており、周波数計画の策定や規制、管理等を行う。

2 無線局免許制度

2015年1月に、ComCom は、4G サービスの提供を可能にするために既存の通信事業者の周波数ライセンス(800MHz、900MHz、1800MHz、2100MHz)の再構築を完了した。また、800MHz 帯の 2×10MHz のライセンスを唯一の申請者である Cellfie Mobile (当時は Mobitel) に約 5,080 万 GEL で販売した。その際、15年間の譲歩条件に基づき Cellfie Mobile は、2016年2月1日までに人口 5,000 人未満の集落に対して、その集落の 30% の 4G のカバレッジを提供することが義務付けられた。さらにこの条件は、2017年2月1日までに 50% までのカバレッジに引き上げられ、最終的には 2020年2月1日までに 90% を対象とすることとなった。

2016年5月末に行われたオークションの結果、800MHz 帯域のさらに 2×5MHz のライセンスが MagtiCom によって落札された。同社は 15年間のライセンス料として 2,540 万 GEL を支払った。条件として、獲得から 1年以内に 30%、2年以内に 50%、3年以内に 70%、5年以内に 90% をカバーすることが義務付けられた。同時に、ComCom は 800MHz 帯の 2×5MHz、900MHz 帯の 2×4.5MHz、1800MHz 帯の 2×5MHz の 3つのロットと 2100MHz 帯の 2×5MHz の 3つのロットでオークションを開催したがいずれも入札は不調に終わった。2018年9月に行われた 800MHz 帯の LTE ライセンスのオークションでは、Geocell(2018年3月から SilkNet の一部)が唯一の入札者となり、新たに 2×5MHz のスペクトルを獲得した。

5G については、2020年11月に、ComCom は、計画されている 5G 周波数オークションに関する諮問文書を公表した。対象とされた周波数帯は、700MHz 帯に

においては 703MHz - 733MHz 及び 758MHz - 788MHz の 2×30MHz、800MHz 帯においては 816MHz - 826MHz 及び 852MHz - 862MHz の 2×10MHz、3400MHz ~ 3800MHz 帯の範囲では 5×50MHz、1×40MHz、1×30MHz が指定された。通信事業者は、700MHz 帯と 800MHz 帯のそれぞれにおいて 2×10MHz と 3400MHz ~ 3800MHz 帯の合計 100MHz に制限される。2022 年 6 月には無線周波数計画が更新され、それから約 1 年後の 2023 年 7 月に、ComCom は、700MHz、800MHz、1800MHz、2600MHz、3.5GHz 帯のモバイル周波数帯のオークションを承認した。合計 24 のロットが、オークションにかけられ、補償義務や価格が異なるロットを組み合わせた 4 つのオークションが行われた。1 回目は 623 万 GEL、2 回目は 253 万 GEL、3 回目は 259 万 GEL、4 回目は 265 万 GEL であった。また、落札者は公平かつ無差別な条件での MVNO へのネットワークアクセスを許可する必要がある（1 ロットはこの義務から除外）ほか、今後 3~7 年間かけて、ジョージアの人口密集地域、観光地、港、空港、鉄道、主要高速道路において、5G サービスを段階的にカバーすることが条件として求められた。しかしながら、同年 7 月末に、ComCom は MagtiCom と SilkNet がオークションプロセスに参加しないことを選択したため、CellfieMobile が 5G オークションの唯一の参加者となった。ComCom は、両社がオークションに参加しなかった理由として、ライセンスの条件、特に MVNO のネットワークアクセス義務に反対したと報じている。一方で MagtiCom と SilkNet は、MVNO の導入は歓迎するが、強制されるものではなく、相互の利益を考慮した交渉ベースで行われるべきものであると表明している。

最終的に、オークションは予定通り 2023 年 8 月に行われ、CellfieMobile 単独入札となり、同社は 1800MHz 帯の 2×5MHz と 2600MHz 帯の 1×10MHz の 2 ロット、さらに 700MHz 帯の 2×5MHz 及び 3500MHz 帯の 1×50MHz を獲得した。落札価格は合計 265 万 7,000GEL であった。

Ⅲ 周波数分配状況

・周波数分配表(2023年10月末時点) URL: http://mca.comcom.ge/spectrum_map/